

第 33 期海外情報連絡会第 5 回運営小委員会議事録(案)

1. 日時 2012 年 1 月 27 日(金) 10:00～12:00
2. 場所 日本原子力発電(株) 本店 第 8 会議室
3. 出席者 剣田連絡会長、寺井副連絡会長、沢会計幹事、廣瀬委員
議事録作成：植松庶務幹事

4. 議題

- (1) 第 4 回運営小委員会議事録確認
- (2) 平成 24 年度（第 34 期）運営委員候補について
 - ① 幹事（連絡会長、副連絡会長、庶務幹事、会計幹事）候補
 - ② 運営委員候補
 - ③ 第 34 期運営委員選挙準備
- (3) 選挙内規・論文審査員選出要領の承認について
- (4) 2012 年春の年会準備（第 4 回講演会，第 46 回全体会議）
- (5) ANS 活動報告と今後の対応方針

5. 審議内容

- (1) 第 4 回運営小委員会議事録確認

第 4 回運営小委員会議事録を確認し、ホームページに掲載することで了承した。

- (2) 平成 24 年度（第 34 期）運営委員候補について

- ① 幹事（4 役）及び運営委員候補について。

庶務幹事より次期運営委員候補者の紹介があった。現副連絡会長を次期連絡会長、現会計幹事を次期庶務幹事に推薦することを決定した。現連絡会長および運営委員 3 名は今期で引退することとなり、各人より次期運営委員候補 4 名の推薦があった。次期運営委員としての改選対象は 1 名の予定。なお、次期副連絡会長及び次期会計幹事の候補については調整中であり、今後メールにて審議することとなった。

- ② 第 34 期運営委員選挙準備について

廣瀬委員より新役員選挙（運営委員選挙）準備状況について報告があった。選挙用往復はがきは 2 月 8 日（水）発送を目途とし、今後、庶務幹事が選挙対象者（運営委員候補者）を確認するとともに連絡会員名簿を更新し、廣瀬委員が印刷および郵送を実施する。開票集計は 2 月 27 日（月）を予定。投票立会人（第 31 期委員長、第 32 期委員長）に結果をご確認いただき、第 46 回全体会議（2012 年春の年会、3 月 20 日（火））にて報告する。

- (3) 選挙内規・論文審査員選出要領の承認について

庶務幹事より、「海外情報連絡会運営委員選出に関する内規（選挙内規）（案）」及び「ANS 論文賞審査員選出に関する要領（論文審査員選出要領）（案）」について報告があり内容が了承された。選挙内規及び論文審査員選出要領は、第 46 回全体会議にて審議する。全体会議にて了承が得

られたのち、選挙内規については学会事務局にて管理する。なお第 46 回全体会議での選挙内規審議結果は、4 月 6 日（金）までに学会事務局に報告する。論文審査員選出要領については海外情報連絡会運営委員会にて管理する。

なお、選挙内規制定日並びに改定日の記載については、庶務幹事と学会事務局で、次のとおりの認識であることを確認した。

- 海外情報連絡会として承認した選挙内規は、「第 45 回全体会議（平成 23 年 9 月 22 日）」にて「制定」した。
- その後、学会理事会より部会・連絡会の規定・規約・内規等を整理し、フォーマットを統一するよう指示があり、海外情報連絡会運営委員会において選挙内規を改訂。更に、各部会・連絡会の規定・規約・内規は、学会で管理することとなった。
- 従って、学会として承認・管理する内規として、「第 46 回全体会議（平成 24 年 3 月 20 日）」にて「制定」することとした。

上記の認識を踏まえ、学会として承認・管理する内規の制定日として、内規表紙ページ右上に、「平成 24 年 3 月 20 日 第 46 回海外情報連絡会全体会議制定」と記載する。一方、附則 2 の改訂履歴には、海外情報連絡会として承認した内規の制定日として、「①平成 23 年 9 月 22 日 「海外情報連絡会運営委員選出に関する内規」として第 45 回海外情報連絡会全体会議制定」と記載し、学会として承認・管理する内規の制定日として、「②平成 24 年 3 月 20 日 学会管理の内規に変更、第 46 回海外情報連絡会全体会議制定」と記載する。

(4) 2012 年春の年会準備

① 第 4 回講演会について

庶務幹事より、吉野原子力政策課長にご講演いただける予定である旨の報告があった。講師謝礼及び交通費については、沢会計幹事から松田企画調整一係長に、お受け取りいただけるかも含めお伺いする。当日までの諸調整（プレゼン印刷、パソコン整備等）は庶務幹事が行う。当日の議事録作成は沢会計幹事にお願いすることとなった。

② 第 46 回全体会議について

庶務幹事より、第 46 回全体会議の議題（案）を紹介し、了承された。今後の資料作成は各担当が行い、庶務幹事が取りまとめる。

(5) ANS 活動報告と今後の対応方針

① 野村 JAEA 理事（国際活動委員会委員長）との打ち合わせについて

劔田連絡会長より、1 月 25 日（水）に野村 JAEA 理事（国際活動委員会委員長）との打ち合わせについて報告があった。同打合せには、野村理事、劔田連絡会長、寺井副連絡会長、植松庶務幹事が参加し、ANS 日本支部としての今後の活動方針について相談した。相談の結果、今後の活動方針として、主に以下を実施することとした。

- 海外情報連絡会は ANS 日本支部としての活動を行うことを改めて AESJ と ANS に周知する。また、海外情報連絡会ホームページにおいても記載・周知する。（AESJ に対しては理事会

(3月16日)で、ANSに対してはANS Annual Meeting(6月)で周知予定)

- ANS 日本支部の位置付けは「ANS 在日大使館」と捉える。ANS に対し AESJ 側連絡窓口の役割となるが、事務作業については、学会事務局のサポートが必要であることから、今後学会事務局と調整する。本件については、劔田連絡会長と植松庶務幹事が、学会事務局と調整する予定。
- 海外情報連絡会の ANS 日本支部としての活動を円滑に行うため、海外情報連絡会の運営委員に ANS 会員を含めることとする。本件に関し庶務幹事は、海外情報連絡会または運営委員が ANS 会員になる場合の会費減免措置があるかどうかを調査する。
- 国際活動委員会委員(植松庶務幹事)は同委員会からの ANS 関連情報を適宜海外情報連絡会に連絡する。

なお、植松庶務幹事は今期で運営委員を引退予定であるが、国際活動委員会委員であることから、ANS 対応要員として運営委員に残る方向である。

② ANS バナー及び義捐金贈呈式について

庶務幹事より、ANS バナー(寄せ書き)および義捐金贈呈式について報告があった。贈呈式は1月13日にJビレッジにて行われ、ANS 日本支部として植松庶務幹事が参加した。なお同バナーは ANS winter meeting(平成23年11月)にて行われた寄せ書きであり、NYタイムズスクエアのデジタルサイネージ(電子看板)にも掲示された。

以 上